

部 局	市立豊中病院	補 職	病院事業管理者 総長 病院長	氏 名	直川俊彦 藤野裕士 岩橋博見
-----	--------	-----	----------------	-----	----------------

1. 部局の使命

地域の医療機関との連携を推進し、急性期医療を担う中核病院として、救急や小児・周産期、感染症などの政策医療、また、がん診療など高度で良質な医療を提供することで地域医療を支えます。こうした医療の質を確保・向上するためにも、公営企業として経営の効率性・効果を高め、安定した運営を行います。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
<p>(1) 公立病院の使命を追求しつつ、収支構造の黒字化を遂げるために、組織を挙げて課題及び目標を共有して取り組みます。</p> <p>(2) 組織の使命を遂行するため、『市立豊中病院運営計画』（取組期間：令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度)）に基づき、下記の視点で病院運営に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期医療を中心とした医療機能の充実 地域医療連携の推進 医療の安全と患者サービスの向上 安定した経営基盤の確立 <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行されることから、一般診療とのバランスに配慮しつつ、これまでの経験を活かし、感染症指定医療機関として必要な医療提供体制を確保していきます。</p>	<p>(1) コロナ感染症の位置づけが5類に移行されましたが、経過措置としてコロナ専用病床の確保が求められ、多くの患者を受入れる一方、補助金が大幅な減額となり、経営面で大きな影響を受けました。安定した経営基盤の確立に向けて、病院全体で目標と方向性を共有し、診療科・病棟別に経営指標を設定し、経営企画会議でのモニタリングのもと、診療単価の上昇、新規入院患者数の増加など改善の効果が見られました。</p> <p>(2) ・救急専門医及び救急用病床を確保し、救急医療体制の強化を図り、救急車搬送患者数は前年度を大きく超える8,253人を受入れました。また、コロナ後を見据え、急性期医療の充実など病院の機能強化に向けて、特定リハビリ病床の返還とそれに伴い創出される人員・スペースを活用し、外来化学療法室の拡充等について検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療科部長による医療機関訪問やセミナーの開催など、地域との連携の強化を図り、紹介率82.4%、逆紹介率86.7%と、前年度を上回ることができました。(2月実績) 患者サービス向上委員会を中心に、患者・家族からの意見等による課題の把握と改善策の検討・実施などを通じ、患者満足度の向上に取り組みました。(患者満足度調査：やや満足含めた評価 入院患者97.2% 外来患者95.5%) 医師の働き方改革への対応として、長時間労働の面接指導体制の強化など健康確保措置の環境整備を図りました。また、医師の負担軽減が図れるよう、タスクシフト・シェアを進める観点から、医師に代わり医療行為のできる特定行為研修終了看護師の活用や特定リハビリ病床返還に伴う医療スタッフの人員体制の再編などに取り組みました。 <p>(3) 大阪府の5類感染症への移行計画に基づき、コロナ専用病床を確保し、患者の受入れを行うとともに、平時体制への転換を段階的に実施してきました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>急性期医療を中心とした医療機能の充実</p> <p>(1) 地域の急性期医療を担う中核病院として専門的な医療を充実させるとともに、救急搬送される入院患者の受入れ体制を整備し、救急医療を強化します。また、地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たし、質の高いがん診療を提供します。</p> <p>①救急医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入れのための病床の効率的運用 (5月) 救急部門担当人材の確保 (4月) <p>②がん医療の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> がんゲノム医療センターを開設し、院内・院外への情報の発信や主治医が容易に相談できる体制の整備、連携する部門の調整機能の強化を図ります。 がんサロン及びAYAトークの開催 (月1回) <p>③周産期・小児医療の充実等、子育てしやすいまちづくりへの貢献 (暮らしやすさ向上関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ハイリスク妊産婦や低体重出生児に対して応援医師など人員体制を確保し、24時間入院対応が可能な小児地域医療センター及び地域周産期母子医療センターとしての役割を果たします。(通年) 	<p>(1)</p> <p>①新たに救急専門医1名(計2名)及び救急用病床5床を確保し、救急医療体制の強化を図り、救急車搬送患者数は前年度を大きく超える8,253人を受入れました。</p> <p>②・がんゲノム医療センターを中心にゲノムに関する情報の集約を行い、病院内外へ情報の発信を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> がん遺伝子パネル検査について、新たに保険適用となった2種類を加え5種類とし、患者の状況により適した検査を選択することが可能となりました。 がんゲノム医療セミナーを開催(9/29 67名参加)し院内院外の医療従事者へ情報提供を行いました。 がんサロン(12回開催)、AYAトーク(12回開催)を開催し、患者同士の語りの場を提供し、がん患者の支援の充実に努めました。 <p>③医師など医療スタッフを確保し、小児・周産期にかかる地域の中核病院としての責務を果たしました。また、産後ケアの拡充、付き添い入院に係る対応について検討を行いました。</p>	<p>(1)</p> <p>①更なる救急医療受け入れ体制の強化を図るため、消防局と連携し、救急救命士配置に向けた検討を行います。</p> <p>②・院外の情報発信を強化し、当院以外からの紹介患者を確保していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 血液がんのがん遺伝子パネル検査が保険適用となった場合の準備に取り組みます。 国におけるエキスパートパネル実施要件の見直しを注視し、実施要件が満たせるよう準備対応に取り組みます。 情報発信を強化し、AYAトーク参加者の確保及びがん患者の支援の充実に取り組みます。 <p>③引続き、地域周産期母子医療センター及び小児地域医療センターとしての役割を果たしていきます。産後ケアの対象者を拡充します。付き添い入院に係る環境整備を行います。</p>
総合計画			
2-2-	(3) 地域医療の充実を図ります		
基本政策			
24	市立豊中病院の機能強化	42	がん患者等への支援の充実

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>地域連携の推進</p> <p>(1) 地域医療機関への訪問を行い、顔の見える関係づくりとともに、意見交換を行い、課題や問題点を共有し、連携を強化していきます。</p> <p>①医療機関訪問 診療科部長による医療機関訪問を計画的に実施し、当院の診療体制等に関する情報提供等を行い、紹介患者の回復に繋がります。</p> <p>②登録医との関係強化 登録医総会(4月)を実施し、当院への意見・要望等を把握し、課題の改善を行います。</p> <p>(2) ICTを活用した地域医療機関との情報連携を進めます。</p> <p>①「市立豊中病院ネット」の参加登録医療機関の拡充とともにより効果的な利用に向け、閲覧範囲の拡大等に取り組みます。</p> <p>(3) 当院での治療を一定終えた後に、治療やリハビリをつなぐ病院間の連携を強化していきます。円滑な転院が可能となるよう、職員による訪問診療医等への訪問を実施し、意見交換や情報共有を行います。</p> <p>①豊中市病院連絡協議会(年2回)</p> <p>②豊中市病院連絡協議会病院長部会(随時)</p> <p>(4) 高齢者の一人暮らしや認知症の患者が増えていくなか、安心・安全な在宅生活が過ごせるよう医療と介護の連携を図ります</p> <p>①WEBを活用したカンファレンスによるケアマネージャー等との情報共有、連携の強化を図ります。</p> <p>②MSWを中心とした医療福祉相談体制を強化します。</p>	<p>(1) 診療科部長による18医療機関への訪問を行うとともに、地域の医療従事者に対するセミナーを年6回実施しました。</p> <p>・登録医総会及び地域医療支援委員会は、webや対面方式により予定どおり実施しました。</p> <p>(2) 「市立豊中病院ネット」の登録医療機関は前年度より14件増え、110件となりました。</p> <p>(3) 豊中市病院連絡協議会については、対面方式にて総会を実施しました。あわせて、病院長部会を随時開催し、各病院の情報共有を行いました。</p> <p>(4) 適切な療養が受けられるよう退院支援相談担当職員等による医療機関訪問の実施とともに、医療福祉相談に対応しました。</p> <p>訪問件数406件(前年度は256件) 医療福祉相談2,385件(前年度は1,998件)</p>	<p>(1) 集患効果を見据えた、連携強化に向けた取り組みを実施します。</p> <p>・診療科部長との連携のもと計画的な訪問を実施し、紹介患者の増加を図ります。</p> <p>・地域の医療従事者に対するセミナーを引き続き実施します。また、登録医総会における講演について大阪府医師会生涯教育単位の取得が可能となるよう調整し、登録医であるメリットの創出を図ります。</p> <p>・地域医療機関等に向け、当院の医療内容等に関する発信を強化します。</p> <p>・紹介元に対し、内容が充実した「返書」での確実な報告を行う体制を整備します。</p> <p>(2) 「市立豊中病院ネット」は、引き続き医療機関訪問時の声掛けや広報強化により参加医療機関の増加に繋がります。</p> <p>(3) 退院後の患者支援の充実のため、担当職員による医療機関訪問を継続します。</p> <p>・入院前から退院後を見据えた支援が可能となるよう、体制を構築します。</p> <p>(4) 退院調整に伴う医療福祉相談件数については件数の急激な伸びとともに相談内容が複雑かつ多岐にわたるものが増えています。MSWの関与すべきケースが増えており、適切な体制整備に取り組みます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-2- (3) 地域医療の充実を図ります</p>		
	基本政策		
	24 市立豊中病院の機能強化	38	在宅医療と介護の連携促進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>医療の安全と患者サービスの向上</p> <p>(1) 患者やその家族が安心してサービスを受けることができるよう、職員の接遇能力向上や院内環境の整備、情報通信機器の活用など、患者満足度の向上に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査の実施(10月) 接遇研修の開催(年1回) 患者サービス向上委員会の開催(月1回) オンライン資格確認制度への対応(通年) 心臓ペースメーカーの遠隔モニタリングの実施(通年) <p>(2) 更なる医療の安全と患者サービスの向上をめざし、公益財団法人日本医療機能評価機構からの更新認定に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院機能評価検討委員会の立ち上げ(10月) 同委員会の開催・院内調整(下半期) <p>(3) 入退院時の手続きや説明、各種相談支援について、患者の利便性とサービス向上を図る仕組みを構築します。</p> <p>(4) 公共施設等総合管理の一環として病院施設設備の適正管理を行います(重点)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期的には施設更新も見据えつつ施設改修保全の方向性策定 長期的な病院機能のあり方などソフト面を併せた検討 エレベーターの更新計画の適正な執行 	<p>(1) 患者サービス向上委員会を中心に患者・家族からの意見等による課題の把握と改善策の検討、実施するとともに、接遇研修会を開催しました。満足度調査は、やや満足を含め、以下の結果でした。</p> <p>入院患者97.2% 外来患者95.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度当初より認証機器を窓口を設置し、患者ニーズに対応しました。利用者数は徐々に増加傾向にあります。 <p>(2) 病院機能評価は、コロナの感染拡大の影響で、受審時期が延期となり、検討委員会の設置は行いませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内ポータルに、病院機能評価受審に向けて情報発信を実施しました。 <p>(3) 患者支援室の拡充に向けて、患者の利便性とサービス向上を図る仕組みの整備に取り組みました。</p> <p>(4) 適切な移転時期の参考にするため、病院建物、設備各項目に今後要する費用の概算を算出しました。エレベーターの更新は、部品調達が困難なことから、債務負担行為により当初予定の令和7年度(2025年度)までに全11基の入替が完了できるよう、再計画しました。</p>	<p>(1) 患者やその家族が安心してサービスを受けることができるよう、患者サービス向上委員会等を中心に、更なる患者満足度の向上に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン資格確認利用患者の増加に向けた周知に取り組みます。 <p>(2) 令和7年10月の受審に向けて院内の体制整備を進めます。検討委員会の設置、キックオフ研修会(令和6年5月)を実施し、受審に向けた対応を開始します。</p> <p>(3) 患者支援室を拡充し、入院前から退院後を見据えた切れ目のない支援を行う体制を構築していきます。</p> <p>(4) 今後は、病院事務局一体で収益や経営状況に照らし併せ、施設更新時期や改修計画の検討を引き続き行います。エレベーターについては、令和5年度(2023年度)から3か年にわたる更新計画に沿って、進行管理を行います。</p>
	総合計画		
	2-2- (3) 地域医療の充実を図ります		
基本政策			
	24 市立豊中病院の機能強化	37	オンライン診療の促進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>安定した経営基盤の確立</p> <p>(1) 持続可能な病院運営に向け、1~3の取組みの成果を結集しつつ平時の収支構造を改善します(重点)</p> <p>①職員の経営意識の醸成 職員が当院の経営状況、課題の情報共有や研修等を通じて収益改善に向けた取組みを実践できるよう職員の経営意識の醸成を図ります。 ・eラーニングの開始(4月~)</p> <p>②病床利用率の向上 新型コロナウイルス感染症の流行により、新規入院患者数が減少し病床利用率が低下したことから医業収益は大きく減少しています。まず脱コロナに向け、感染症中心の医療から平時の医療提供体制への病棟の再編を行い、病床の稼働率を向上します。 ・病棟の再編(5月~) ・病棟別指標モニタリング・課題抽出・改善(5月~)</p> <p>③新規入院患者数の向上 ・地域医療機関訪問による紹介患者の獲得 ・救急医療体制の強化 ・指標モニタリング・課題抽出・改善(5月~)</p> <p>④入院診療単価の向上 ・高度で専門的な医療の提供による診療単価の向上</p> <p>⑤経営企画会議の運営の見直し 会議の運営を見直し、上記の取組みの進捗管理、診療実績の分析や診療報酬算定状況のチェック体制を強化し、医業収益の確保に取り組めます。 ・経営企画会議の開催(月1回) ・診療実績の分析評価(通年) ・データに基づく課題及び取組み方向性の共有</p>	<p>(1) ① ・病院運営計画に関する動画をeラーニングにて発信しました。 ・各部門による目標設定を行い、病院幹部によるヒアリングを実施し、抽出された課題等については経営企画会議で共有し、eラーニングにて院内発信しました。 ・以上により、安定した経営基盤の確立に向け、病院全体の目標と方向性の共有を行いました。</p> <p>②~⑤ ・経営企画会議を報告中心の運営から課題解決に向けた議論中心の運営としました。 ・診療科別、病棟別の新規入院患者数、病床稼働率等を日次、週次、月次で抽出できる仕組みを構築し、情報提供を行うとともに、期中より目標数値を追加し、患者数、稼働率の予実管理を行いました。 ・各指標について、ベンチマークシステムを用いて同規模病院との比較を行うなどモニタリングを実施し、各部門における改善推進を促しました。(病床稼働率の向上、新規入院患者の増、診療単価の向上) ・診療報酬改定に係る情報提供を適宜行い、令和6年2月に研修会を実施しました。</p>	<p>(1) ①・部門別予算・決算についての精度を向上させ、予算執行管理に関する意識向上を図ります。 ・病院幹部によるヒアリングを継続し、部門別の具体的な取り組み目標、課題について共有し、改善を図ります。</p> <p>②~⑤ ・経営企画会議中心に目標数値が達成されない場合の要因分析を行い、改善に取り組みます。 ・特定リハビリ病床(50床)の返還に伴い、入院患者の早期転院・退院への協力にかかる広報・周知を強化し、新規入院患者数の向上に取り組めます。 ・重要指標のモニタリングを継続し、各部門における収益向上に向けた取組みを推進します。 ・ベンチマーク結果に基づいて、診療の質と費用抑制の両立が可能なクリニカルパスを検討、改善するための仕組み(委員会、チーム、病棟・診療科担当者)の構築に取り組めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-2- (3) 地域医療の充実を図ります</p>		
	<p>基本政策</p> <p>24 市立豊中病院の機能強化</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	働き方改革の推進 (1) 医師の時間外労働にかかる上限規制が令和6年(2024年)4月から適用されることを見据え、医師の健康を確保し、働きがいのある職場づくりに向けて、長時間労働の改善に取り組みます。 ① 医師の時間外労働上限規制に向けた対応 ・医療機関勤務評価センターからの評価の受審(4月) ・大阪府へ「B水準」「C-1水準」の指定申請(6月) ※医師の時間外労働については、原則年間960時間以内(A水準)とされますが、救急医療など地域医療の確保のため(B水準)、臨床研修・専攻医の研修のため(C-1水準)、必要と認められた場合は上限が年間1,860時間とされています。休息時間の確保など、医師の健康を確保するための様々な条件が設定されています。 ② 業務の精査及びタスクシフト・タスクシェアの推進(重点) 市立豊中病院として重点化するべき機能の検討と併せて業務の精査を行うとともに、医師の仕事のタスクシフト・タスクシェアを進め、多職種連携強化の機会とします。	(1) 令和6年(2024年)4月の医師の勤務時間上限規制開始を見据え、医師の健康を確保し、働きがいのある職場づくりに向けて長時間労働の改善に取り組みました。 ①・医療機関勤務評価センターからの評価の受審(8月) ・大阪府へ「B水準」「C-1水準」の指定申請(10月)、認定(2月) ②・特定行為研修修了看護師活用の検討、特定リハビリ病床返還に伴う人員体制の再編、医師事務作業事務者の増員	(1) 令和6年(2024年)4月1日からの法適用(時間外労働規制の開始)に際し、「B水準」「C-1水準」の確実な実行、医師労働時間短縮計画に沿った取組みを実施していきます。 (2) 特定行為研修修了看護師の育成・活用、特定リハビリ病床返還に伴い再配置する人員の確保・活用、医師事務作業事務者への業務移管等を引き続き進めます。
	総合計画		
	2-2- (3) 地域医療の充実を図ります		
基本政策			
	24 市立豊中病院の機能強化		

No	当年度目標(当初設定)		実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果		
				課題・今後の方向性	
6	新型コロナウイルス感染症への対応		<p>(1) *大阪府の移行計画に基づき、平時体制への転換を段階的に実施しました。 *大阪府との医療措置協定締結に向けた調整を実施しました。(令和6年3月31日締結予定)</p>		*通常の医療提供体制となる令和6年4月以降についても、国・大阪府の動向に基づき、必要な対応を行います。
	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行されることから、一般診療とのバランスに配慮しつつ、これまでの経験を活かし、感染症指定医療機関として必要な医療提供体制を確保していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府の移行計画に基づく病床確保に対応しつつ、段階的な病床再編に取り組みます。(上半期) ・国の指針等を踏まえた感染対策の実施(通年) 				
総合計画					
	2-2- (3)	地域医療の充実を図ります			
基本政策					
	16	感染症対策の強化	24	市立豊中病院の機能強化	

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	急性期医療を中心とした医療機能の充実 (1) 当院のもつ医療資源を余すところなく発揮し、地域の急性期医療を担う中核病院として手術を含めた専門的な医療を充実させるとともに、救急搬送される入院患者の受入体制を整備し、救急医療を強化します。また、地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たし、質の高いがん医療を提供します。	①地域医療構想への対応 令和5年度(2023年度) 市立豊中病院運営計画(令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度))の推進 ②がん医療の充実 令和5年度(2023年度) がんゲノム医療センターの開設 令和8年度(2026年度) がん診療連携拠点病院の指定更新 ③オンライン診療の促進 令和5年度(2023年度) 実施に向けた環境整備
	総合計画	
	2-2- (3) 地域医療の充実を図ります	
	基本政策	
	16 感染症対策の強化	24 市立豊中病院の機能強化
	37 オンライン診療の促進	42 がん患者等への支援の充実
2	地域医療連携の推進 (1) 地域の医療機関との機能別役割分担と連携の強化を進め、当院が地域において、急性期医療や専門的医療を迅速に提供できる体制づくりに取り組みます。 (2) 誰もが住み慣れた自宅や地域で自分らしく安心して生活ができるよう、地域の医療機関や介護事業者、教育施設等との連携により、医療面から生活をサポートすることで、地域包括ケアシステムに貢献します。地域の医療機関や各種施設への研修会・講習会等を通じて、地域の医療水準向上に寄与します。	継続して実施 ①紹介率・逆紹介率の向上 ②医療機関訪問の強化、「市立豊中病院ネット」普及拡大 ③「地域医療支援病院」承認要件の維持
	総合計画	
	2-2- (3) 地域医療の充実を図ります	
	基本政策	
	24 市立豊中病院の機能強化	38 在宅医療と介護の連携促進

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>医療の安全と患者サービスの向上</p> <p>(1) 安心して質の高い医療が受けられるよう、事故防止に向けた取り組みや職員の安全意識・対応能力向上、患者や家族のサポート体制強化など、安全な医療の提供に取り組みます。</p> <p>(2) 患者やその家族が安心して快適にサービスを受けることができるよう、職員の接遇能力向上や快適な院内環境を整備し、患者満足度の向上に取り組みます。</p>	<p>①日本医療機能評価機構からの評価受審と認定（令和6年度（2024年度））</p> <p>②中長期的視点に立った施設保全の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレベータの更新計画の適正な執行（令和5年度(2023年度～令和7年度（2025年度）） ・今後の施設改修の方向性の検討（令和5年度（2023年度）～） <p>継続して実施</p> <p>①医療安全管理委員会の開催</p> <p>②「患者満足度調査」「患者の声」等に基づく改善活動の推進</p>
総合計画		
2-2- (3)	地域医療の充実を図ります	
基本政策		
24	市立豊中病院の機能強化	
4	<p>安定した経営基盤の確立</p> <p>(1) 当院が公立病院として、また、地域の急性期医療を担う中核病院としての役割を果たしていくため、安定した基盤を確立し、維持していきます。従来からの構造的赤字や、新興感染症の流行による医業収益の落ち込みに加え、世界情勢の影響による経費増に対し、限られた医療資源で最大の効果が得られるよう、最適化による持続可能な経営基盤の確立と維持に取り組みます。</p> <p>①収益性の向上に取り組みます。</p> <p>②病院運営の効率化に取り組みます。</p>	<p>①収益性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬改定への対応（令和6年度(2024年度)） <p>②病院運営の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次医療情報化計画の推進（令和4年度(2022年度)～令和6年度(2024年度)） ・物品管理業務（SPD）の管理形態の見直し（令和6年度（2024年度）） <p>継続して実施</p> <p>①費用の適正化</p>
総合計画		
2-2- (3)	地域医療の充実を図ります	
基本政策		
24	市立豊中病院の機能強化	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)		
5	働き方改革の推進 (1) 医師の健康を確保するため労働環境の改善に取り組むとともに、タスクシフト・シェアなどすべての医療従事者それぞれが自らの能力を活かし、より能動的に対応できるよう働きがいのある職場づくりに向けた取り組みを進め、良質な医療サービスを提供します。	(1) 働き方改革への対応 ①医師労働時間短縮計画の推進（令和5年度（2023年度）～） ②医師の時間外上限規制に係る「B水準」「C水準」の取得（令和5年度（2023年度）） ③産業医による長時間労働面談の継続実施。 ④医師の働き方改革に関する研修を継続実施。 ⑤タスクシフト・シェア（医師の仕事の一部をたの職種に移管）の推進。		
	総合計画			
	2-2- (3)	地域医療の充実を図ります		
	基本政策			
	24 市立豊中病院の機能強化			
6	感染症への対応力の維持 (1) 新型コロナウイルス感染症への対応で培った経験や知見を組織として定着させ、今後の感染拡大や新たな感染症の流行があった場合においても、市民の安心の拠り所となるよう公立病院としての責務を果たします。	①新型コロナウイルス感染症にかかる病床の確保（令和5年度（2023年度）） ②新興感染症流行拡大に備えた対応 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との合同カンファレンスの開催（継続して実施） ・新興感染症の発生等を想定した訓練の実施（継続して実施） ・新興感染症流行拡大時に備えた病床や院内スペースの有効活用法の検討（令和5年度（2023年度）～） ・感染管理認定看護師等専門人材の確保育成（継続して実施） 		
	総合計画			
	2-2- (3)	地域医療の充実を図ります		
	基本政策			
	16 感染症対策の強化	24	市立豊中病院の機能強化	